



株式会社協和日成

証券コード：1981

2026年9月9日（水）

個人投資家向け会社説明会



協和日成ホームページ

<https://www.kyowa-nissei.co.jp/>

Keep the Life line.
ライフラインを支える

会社概要

商 号	株式会社協和日成
設 立	1948年（昭和23年）9月15日
所 在 地	〒104-0042 東京都中央区入船3-8-5
資 本 金	5億9千万円
株 式	東京証券取引所スタンダード市場 <コード:1981>
代 表 者	代表取締役社長 川野 茂
建 設 業 の 可 許	管工事業、土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、電気工事業、舗装工事業、内装仕上工事業、水道施設工事業、消防施設工事業、解体工事業
従 業 員 数	797名（2026年3月31日現在）
売 上 高	398億円（2026年3月期）
グ ル ー プ 会 社	3社（2026年3月31日現在）



環境と技術力、情熱とエネルギー、
そして人、を表した
コーポレートシンボル



企業スローガン・理念

企業ビジョン

たゆまぬ研鑽を行い、優れた人間力と高い現場力で
サービスを提供する真の総合設備工事会社をめざします。

企業理念

存在意義

豊かな暮らしのために
私たちは、安心と心地よさを提供し、
豊かな未来のためにライフラインを支え、社会に貢献します。

経営姿勢

お客さまから選ばれ続けるために
確かな技術と品質でお客さまに安心をお届けし、
社員が安心して働ける職場環境をつくります。
きめ細かな感性でお客さまの信頼に応え、
ひとを尊重しお互いを信頼し合える企業風土をつくります。

行動規範

羽ばたき続けるために
私たちは、常に感性を磨き、感じ・考え、自ら行動します。

目次

1. 当社の概要	 5
2. 中期経営計画「Triple“S”」について	 21
3. 株主還元	 28
ご参考資料	 34

本日お伝えしたいこと

- ① 私たちは、ガス・電気・水道といった、
社会の様々なライフラインを支える会社です。
- ② 80年近く培った技術力と信頼が、
継続的な受注につながっています。
- ③ 建築設備事業を新たな収益の柱とすることを目指しています。
- ④ 中期経営計画「Triple“S”」の着実な遂行を通じて、
持続的な成長と株主還元の充実を目指します。

Keep the Lifeline.

目次

1. 当社の概要

2. 中期経営計画「Triple“S”」について

3. 株主還元

ご参考資料

当社のあゆみ

協 和 建 興 1893~

1893 榎本組発足

1926 榎本組
東京ガス取引開始

1948 設立 榎本組、古屋組、村井組、大堀組の企業合同。
協和管工事株式会社設立

1950 東京都指定水道
工事店となる

1952 協和建興株式会社
と改称

1954 静岡営業所
(現静岡支店)設置。
翌1955年
静岡ガス取引開始

1969 東京電力管路洞道工事
指定工事店となる

2002

合併 **株式会社協和日成** となる

2003

北海道ガス取引開始

2021

ガイアテック株式会社の
株式を取得し、子会社化

日 成 1958~

1958 森田組発足、
東京ガス
取引開始

1970 上水道工事事務
新設

1987 株式会社日成
と改称

1963 法人改組、日成建
設株式会社設立

1979 総合設備工事部門新設、
給排水衛生、換気、
空調、プラント工事開始

1993 札幌事業所
(現札幌支店)設置

2002~

2015 本社所在地を現在の
中央区に移転

2025 中期経営計画
「Triple “S”」
スタート

■ 現建築設備事業
■ 現ガス導管事業

■ 現ガス・機器設備事業
■ 現電設・土木事業

協和日成のしごと① 事業運営のしくみ



■ 施工管理（監督）

工事のマネジメントを担当する技術者。
管工事施工管理技士など。



協和日成のしごと② Keep the Lifeline.

社会の様々な
ライフラインを
支えます



ガス



電気



水道



空調



協和日成のしごと③ 4つの事業領域

建物内では・・・主に設備工事

ガス・機器設備

ガスの配管設備、
給湯暖房、ガス機器工
事など



建築設備

マンション、ビル等の
給排水・空気調和・衛
生設備工事を行い、よ
り快適な空間に



建物外では・・・主に土木工事

ガス導管

都市の地下にあるガス
導管の工事や調査、ガ
ス漏れ時などの緊急出
動まで



電設・土木

より住みやすい都市の
ための、管路埋設工事、
上水道工事、イリゲー
ション工事※1など



※1) ゴルフ場の散水設備やクラブハウスの設備工事

動画で見る協和日成のしごと

ガス・機器設備事業



ガス導管事業



ライフラインを支える現場

建築設備事業



電設・土木事業



基盤事業① ガス・機器設備 ～顧客接点を生かす～

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

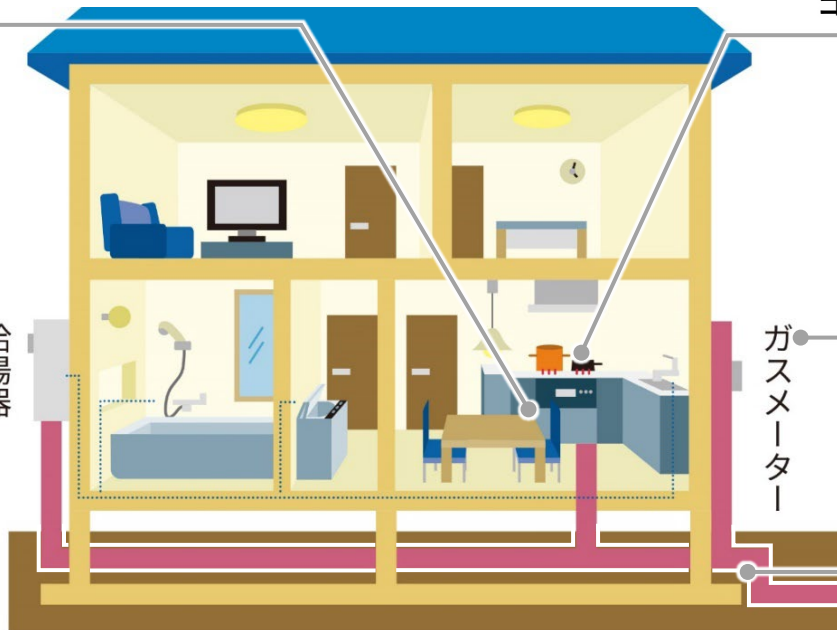
ガス設備工事



コンロ下（ガス栓）

戸建イメージ

■ ガスの配管



コンロ 点火試験



ガス管土中埋設配管

東京ガス管内年間
メーター取付数の
うち、戸建住宅での
シェア率トップ

2024年度23.5%

↓
2025年度24.2%

基盤事業① ガス・機器設備 ～顧客接点を生かす～

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

給湯・暖房工事 機器工事

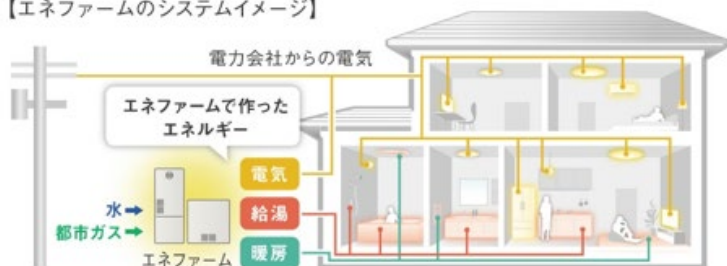
ガス給湯暖房工事。エネファームなどのガス機器設置工事など。



エネファーム
(家庭用燃料電池
コージェネレーションシステム)



【エネファームのシステムイメージ】



床暖房



乾太くん (ガス衣類乾燥機)



主な施工場所

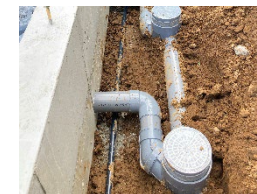
戸建住宅

給排水設備工事・電気工事

戸建住宅の給排水設備工事・電気工事。



給湯配管



排水配管

太陽電池・燃料電池・ 蓄電池システム工事

省エネ機器、発電、蓄電およびシステム制御。住宅、小規模施設の発電、蓄電池等のシステム設計。災害時の停電対策に関する設備の提案・設計・施工管理・メンテナンスまで。

ガス設備工事の顧客接点を起点に、複数工事の提案で1件当たりの受注価値を向上。
現在は、戸建住宅において、給排水・電気・環境商材まで提案の幅を拡大し、総合設備事業を推進。

基盤事業② ガス導管 ～ガスインフラを守り続ける～

主な施工場所

地中

ガス導管工事

経年管入取替工事

ガス事業者の設備投資計画に基づくガス導管の入取替工事。経年劣化による漏洩防止と耐震化のため、ポリエチレン管への入取替を行う。

需要工事（新設工事）

ガス導管が届いていないお客様の敷地まで導管を埋設・延伸する工事。

メンテナンス

ガス導管修理工事

ガスの本管・支管に関わる修理工事。

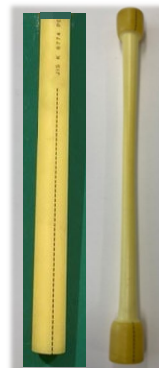
ガス漏れ緊急出動

ガスの本管・支管に発生するガス漏れに関わる緊急調査・修理。24時間365日、出動に備えて待機。

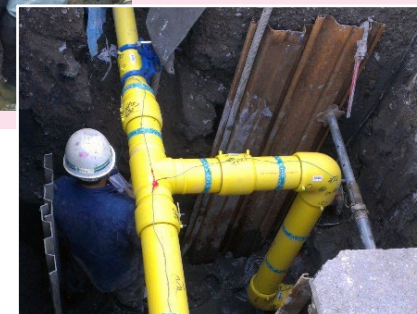
ポリエチレン管

土中の水分で腐食せず、地震に強い柔軟性のある管。

写真右：強い力をかけたポリエチレン管。破断していない。



大口径導管溶接工事



導管分岐部工事

長年培った技術力と実績を背景に、
ガス事業者の所有する導管ネットワークを支える基盤事業。
耐震化・保安向上に向けた更新需要は長期的に継続。

成長の主軸 建築設備 ～新たな収益の柱へ～

主な施工場所

集合住宅

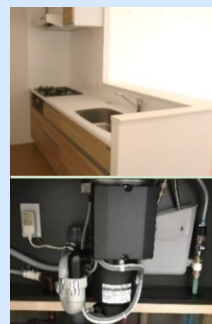
工場

学校・福祉施設

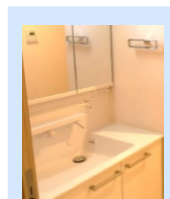
商業施設

<集合住宅における施工範囲>

給水… ●—● 給湯… ▲—▲
換気… ◆—◆ 排水… ●—●
消火… — 空調… —
ガス… ■—■
(当社ガス・機器設備事業にて施工)



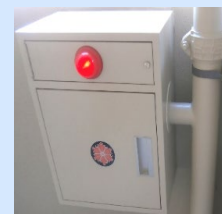
キッチン



風呂・洗面所



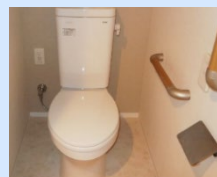
洗濯パン



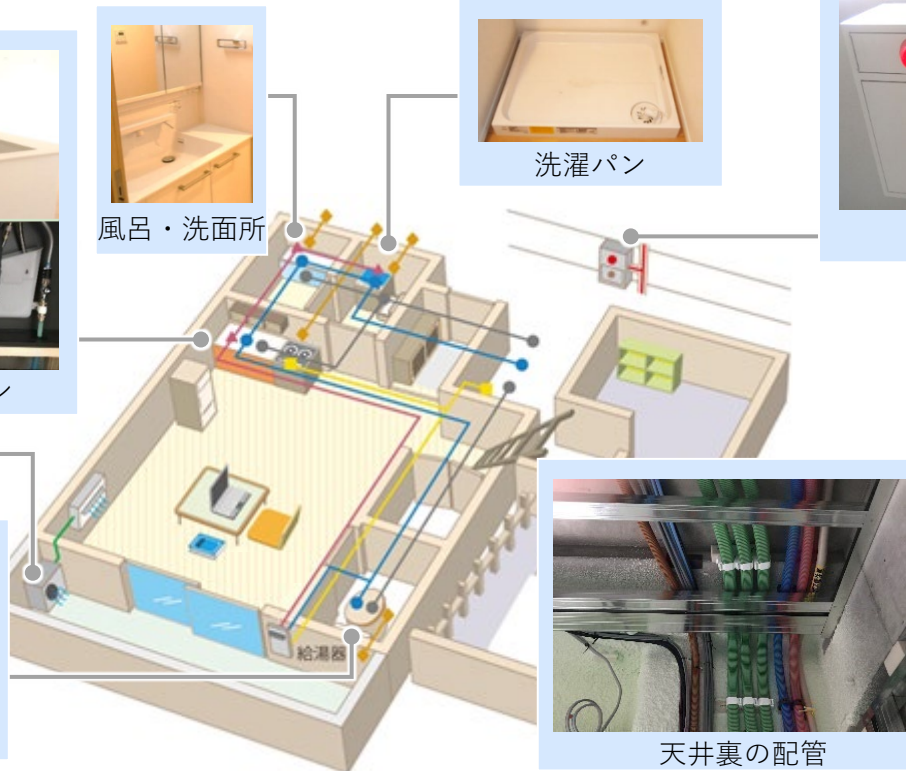
消火栓



エアコン・室外機



トイレ



天井裏の配管

【その他の設備工事】

- ・ 厨房設備工事
- ・ 工場プラント工事
- ・ GHP（ガスヒートポンプエアコン）工事

【メンテナンス】

- ・ GHPメンテナンス工事
- ・ 給排水管の耐用年数をアップする工事

給水管
⇒ NPL-III工法

排水管
⇒ DREAM工法

樹脂でコーティング ▶



給排水衛生設備工事の営業・施工体制を強化し、収益基盤を拡大。ガス・機器設備工事で培った顧客接点も生かし、集合住宅における総合設備事業を推進することで、新たな収益の柱を目指す。

特色ある事業 電設・土木 ～多様な事業フィールド～

主な施工場所

地中

ゴルフ場

電設工事・メンテナンス

地中送電線を通すための管路埋設工事、およびマンホールの地中建設工事、点検・補修工事。



管路地中埋設工事



洞道地中建設工事



マンホール高さ調整工事

一般土木工事 上水道工事、道路舗装工事など



上水道入替工事



道路舗装工事

イリゲーション工事

ゴルフ場の散水設備、クラブハウスの設備工事



ゴルフ場コース



スプリンクラー
取替工事



クラブハウス浴室
シャワー水栓取替工事

電力インフラ、水道、ゴルフ場設備など、特色ある領域で、多様なニーズに応える事業を展開。

継続的な受注を支える当社の強み

品質を支える
確かな技術力



ガス事業者からの
高い信頼



複数工事の
受注が望める
幅広い顧客接点

継続的な受注

安定した事業基盤

技術力が、平時の品質と有事の対応力を支える



建物内のガス設備工事



都市の地中に張り巡らされたガス導管工事

80年近い歴史の中で培われた技術力

現場を安全・品質・工程・予算の面でマネジメントする力

あらゆる視点から人々の生活を支える幅広い事業を展開

給排水
衛生設備
工事



空調設備
工事



電路洞道
工事



水道工事



技術力が、平時の品質と有事の対応力を支える

災害発生時の二次災害防止と早期復旧のため、発注者との覚書を締結。

災害発生時には復旧支援隊を派遣。

災害派遣実績

各事業で培った技術力で
復旧に貢献。

						
		都市ガス 導管	都市ガス 内管※1	水道 (復旧・給 水応援)	プロパン	仮設住宅
1995年	阪神淡路大震災復旧支援	○	○	○	-	-
2004年	三宅島復興工事	-	-	-	○	-
2004年	新潟県中越地震復旧支援	○	○	-	-	-
2007年	新潟県中越沖地震復旧支援	○	○	-	-	-
2011年	東日本大震災復旧支援 (日立、石巻、仙台、千葉など 複数エリア)	○	○	-	-	○
2016年	熊本地震復旧支援	○	○	-	-	-
2018年	大阪府北部地震復旧支援	○	○	-	-	-
2018年	北海道胆振東部地震復旧支援	○	○	○	-	-
2024年	能登半島地震復旧支援	-	-	○	-	-
2026年	令和8年8月千葉豪雨復旧支援	-	○	-	-	-

※1) お客様の敷地内に設置されたガス管（ガス設備配管）のこと



熊本地震 復旧隊全体ミーティング



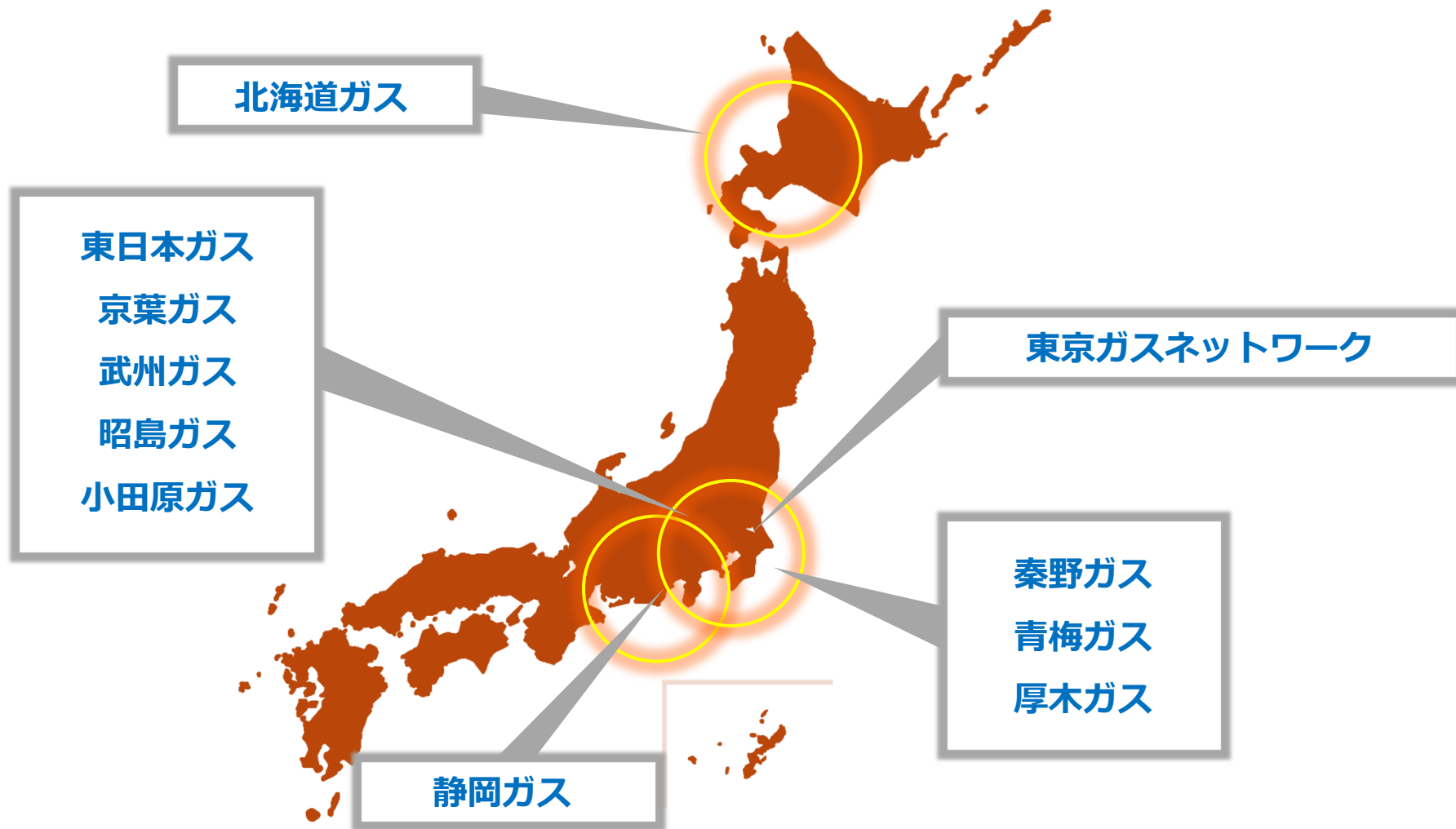
大阪北部地震 作業指示風景



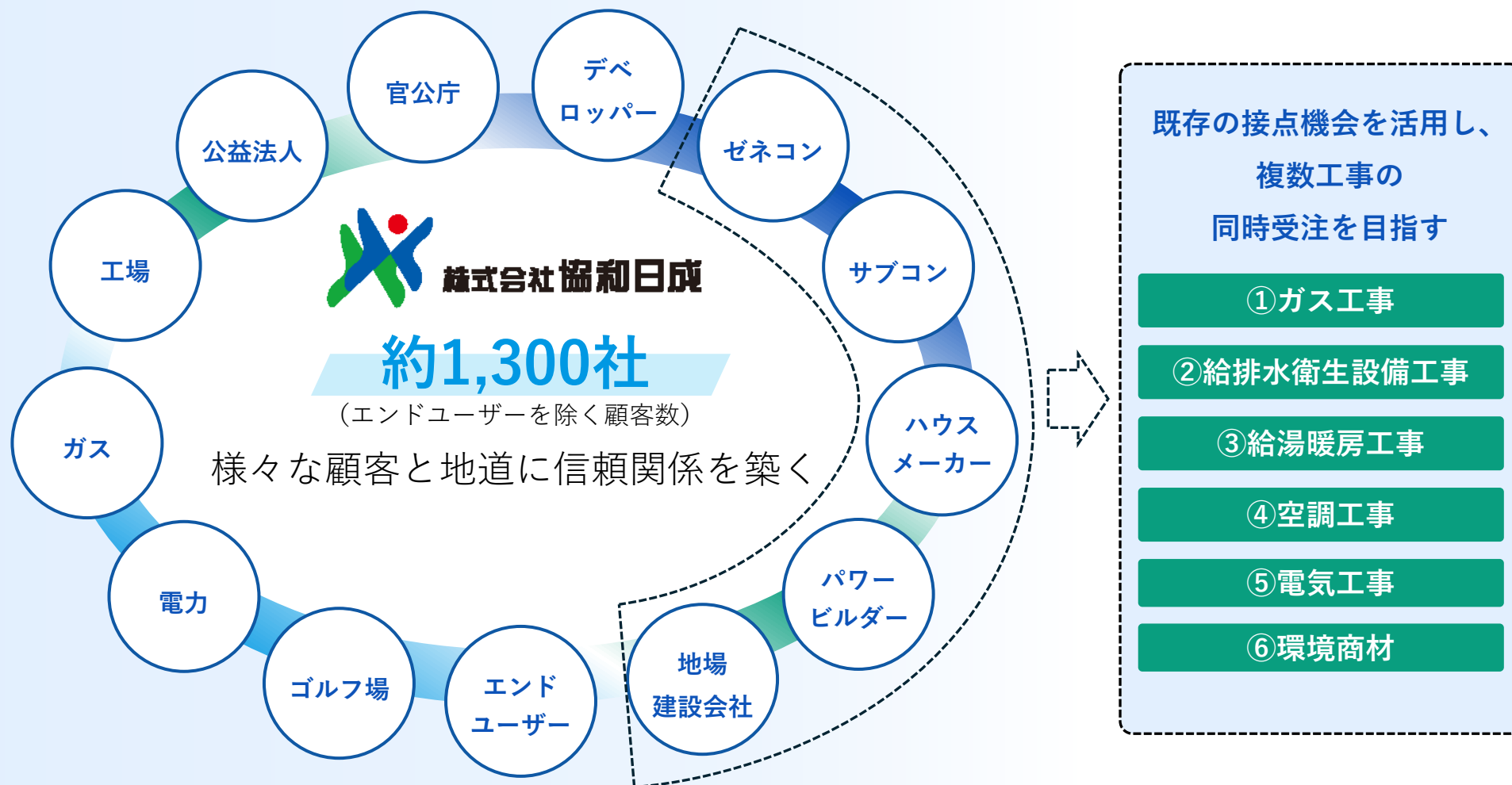
東日本大震災 導管復旧工事

築いた信頼が受注につながる

現在、11社のガス事業者から指定工事店として認定。



顧客接点＝複数工事の受注の起点



目次

1. 当社の概要

2. 中期経営計画「Triple“S”」について

3. 株主還元

ご参考資料

中期経営計画における成長ストーリー

- 総合設備事業のさらなる推進を図るために、前中期経営計画で展開してきた各種施策を踏襲。
- 特に人材育成に注力し、建築設備事業／ガス・機器設備事業においては、一括受注・施工体制のさらなる強化を推進。
- ガス導管事業／電設・土木事業においては、部門間連携のさらなる強化によりガス工事以外の一般土木工事等の受注を促進。
- 「資本コストや株価を意識した経営の実現」を強く意識し、株主還元を一層強化していく。

前中期経営計画 「STEP 2024」

成 果

- ・ 配当性向40％の達成
- ・ CO₂排出量、2021年度比約10％削減
- ・ ITの積極的な導入による生産性向上
- ・ 人事制度・評価制度の運用・ブラッシュアップ

中期経営計画 「Triple “S”」

100年企業に向かって「SHINKA」し続けるために、**3つのSHINKA**を目指す。

重 点 施 策

- ・ 株主還元の強化
- ・ 事業戦略
- ・ サステナビリティの推進
- ・ 経営基盤強化

企業ビジョン

たゆまぬ研鑽を行い、
優れた人間力と高い現場力で
サービスを提供する
真の総合設備工事会社を
目指します。

2022年度～2024年度

2025年度～2027年度

～ビジョン

しんか SHINKAを具体化する中期経営計画

目指すべき姿

100年企業に向かって「SHINKA」し続けるために、「株主還元の強化」、「事業戦略」、「サステナビリティの推進」、「経営基盤強化」の4つの重要施策を展開することで、**3つのSHINKA**を目指す。

進 化

これまで培ってきたノウハウ、技術を生かし、一括受注・施工体制のさらなる推進を目指す。



深 化

既存事業領域の深耕拡大と株主・投資家との良好な対話やIR活動のさらなる強化を目指す。



新 化

多機能化などの人材育成強化および生産性向上と基幹システムの刷新による業務効率化を目指す。



重要施策

株主還元
の強化



事業戦略



サステナビリティ
の推進

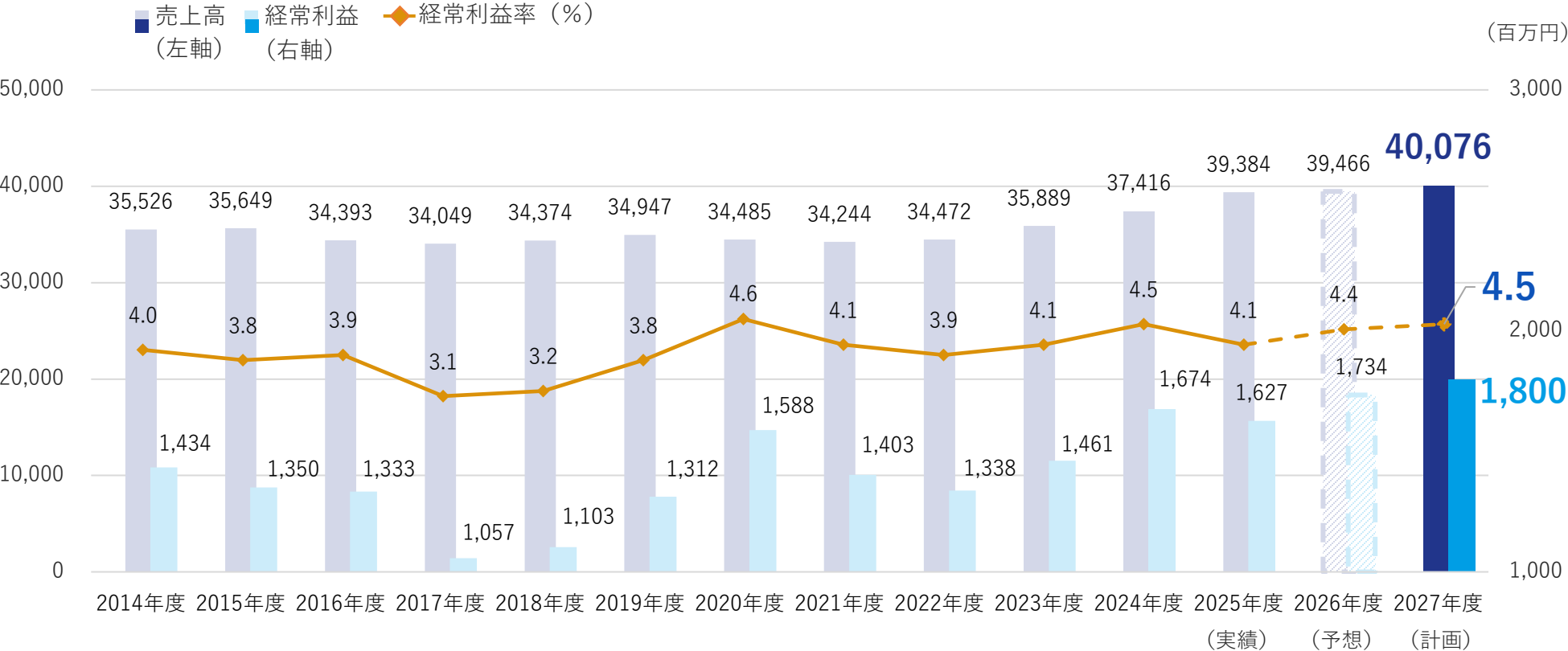


経営基盤強化



数字で見る中計

【売上高・経常利益率】 2027年度目標 400億円・4.5%以上	【ROE】 2027年度目標 6.5%以上	【投資計画】 2024年度比（2025年～2027年累計） 7.4億円以上	【株主還元】 中計期間中の配当性向を 50%へ引き上げ
---	---	---	---

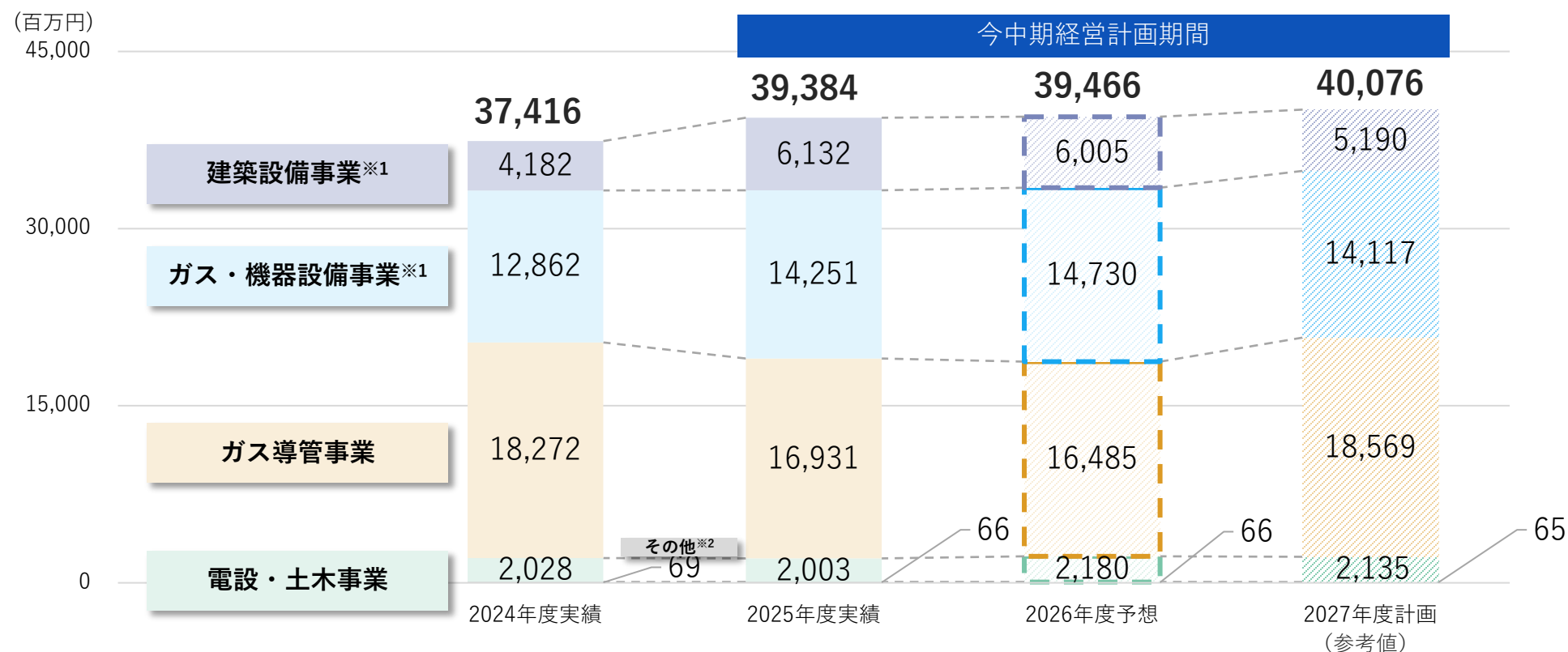


今中期経営計画期間

数字で見る中計 セグメント別売上計画

建築設備事業は大型案件の完成もあり一部前倒しで進捗。

給排水衛生設備工事の営業・施工体制強化や総合設備事業の推進など、中期経営計画で掲げた重点施策は順調に進展。
今後も収益基盤の多角化に向けた取り組みを継続。



※1) 2025年度より建築設備事業で計上していた一部工種をガス・機器設備事業で計上することとしたため、2024年度実績は決算短信等で公表している数値とは相違がございます。

※2) 工材販売手数料等の表示区分調整額。

事業戦略における主な施策の進捗

評価

2025年度の進捗

建築設備事業/ ガス・機器設備事業

「総合設備事業のさらなる
推進」

- 総合設備事業のさらなる推進策として、営業・施工体制の整備を推進。一時的な大規模物件の受注完成もあり、初年度としてはおおむね計画どおり順調に進捗し、一定の成果を実現。
- 建築設備事業において、5年間の育成を経た若手人材が現場代理人として独り立ち可能な水準に到達。

ガス導管事業/ 電設・土木事業

「信頼され継続的に任せて
いただける体制の強化」

- 当社および協力会社の人材活用に向けて、拠点へのヒアリングや協力会社への教育機会を通じた課題抽出・フィードバックおよびフォローを実施、協力会社との良好な関係を維持。
- ITを活用した業務改革の一環として、ウェアラブルカメラを活用した遠隔管理現場における若手監督支援の実施と、取り組み内容の拠点間共有を実施。
- ガス導管班の多機能化に向けて、電設・土木事業における水道工事等の土木工事対応を推進（導管・電設分野を横断的に担う体制構築を継続）

その他

- アジア市場の成長を踏まえ、将来的な技術力確保に向けた検討の一環として、外国人材受入れに関する社内検討を開始。初年度は、体制整備に向けた情報収集および現地視察等を実施。
- 新基幹システムを導入するとともに、営業支援システムおよび受発注システムとの一部連携を開始しており、今後は監督者の作業効率化並びに事務作業時間短縮を図る。担当者の習熟を進めている段階にあり、業務効率化の効果については引き続き検証。

サステナビリティの推進・経営基盤の強化

サステナビリティ — ライフラインを支える事業の推進

ガス導管・電力・水道インフラ工事
→ 防災・減災・レジリエンス向上

ガス設備・給排水・空調工事
→ 安全・衛生・快適な住環境

環境商材の拡販
→ 環境負荷軽減

経営基盤の強化

- ・ 人的資本の強化
人材育成／エンゲージメント向上
- ・ 協力会社との連携強化
- ・ 施工体制の高度化
デジタル技術活用／協力会社との連携強化
/ 事故防止・品質確保
- ・ 事業基盤確保に向けたM&Aの実施
- ・ 健康経営の推進

施工力の向上

質

＜現場力＞
当社監督の技術
×
協力会社施工班の技能

量

＜施工キャパシティ＞
人員数・体制規模

品質・安全・工程・コストを統合的に
マネジメントし、実際に遂行する力

施工力の向上が企業価値の向上につながる

現場力向上

施工キャパシティ拡大

受注（収益）機会の拡大

サステナビリティの推進

持続的な
企業価値の向上

目次

1. 当社の概要

2. 中期経営計画「Triple“S”」について

3. 株主還元

ご参考資料

株主還元の強化（資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について）

改善に向けた方針・目標

1. 利益の引き上げ

- 売上高の拡大に加えて業務効率化等で経費を抑制し、利益を引き上げる

2. 配当性向

- 配当性向40%から50%に引き上げ

3. 自社株取得

- 引き続き機動的な自己株取得を検討

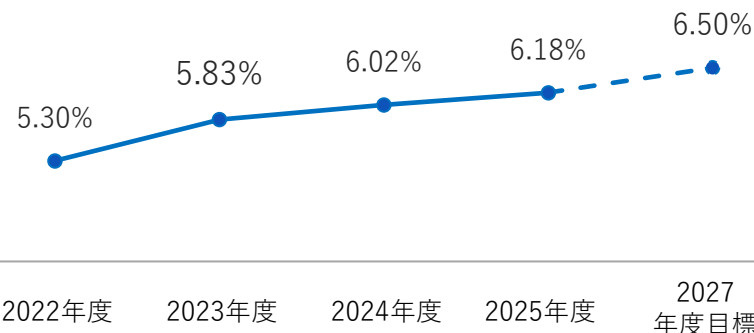
その他施策

上記施策のほか、

- 積極的なIR活動の実施（機関投資家向け決算説明会、個人投資家向け会社説明会、各種媒体の活用など）
- 政策保有株式の縮減

2027年度にROE6.5%を目指す

ROE ※1



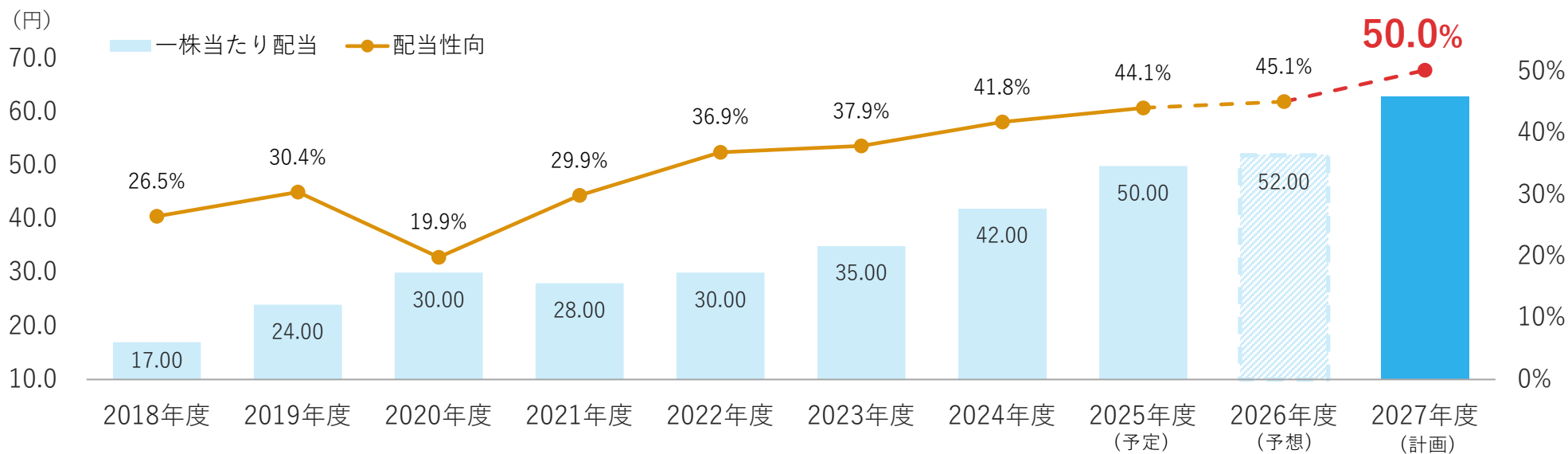
PBR1倍以上を目指す

株主還元の強化

配当方針（2025年5月公表）

今中期経営計画期間中（2025～2027年度）

- 業績および経営環境や今後の事業展開に向けた内部留保を確保しつつ、長期的かつ安定的な配当を維持することを基本とする。
- 業績に応じた配当を検討する上で、2027年度には**配当性向50%を達成することを目標**に、40%からの引き上げを図る。
- 非日常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがある。



今中期経営計画期間

株主還元シミュレーション

1株当たり年間配当額

52.00円 (2026年度予想)

株価

1,343円 (9/8終値)

単元株

100株

概算投資金額 (1単元)

$1,343 \times 100 \text{株} = 134,300 \text{円}$

配当利回り

年間配当額

52.00円

配当利回り

$52 \text{円} / 1,343 \text{円} \div 3.9\%$

※予想配当利回りについては税引前の金額を対象

※ご購入の際に必要となる、証券会社売買手数料等は含んでいません

※株式ご購入の際手数料等については、お取引の証券会社にお問い合わせください

まとめ（本日本伝えたいこと、再掲）

- ① 私たちは、ガス・電気・水道といった、
社会の様々なライフラインを支える会社です。
- ② 80年近く培った技術力と信頼が、
継続的な受注につながっています。
- ③ 建築設備事業を新たな収益の柱とすることを目指しています。
- ④ 中期経営計画「Triple“S”」の着実な遂行を通じて、
持続的な成長と株主還元の充実を目指します。

Keep the Lifeline.

ご清聴ありがとうございました。
ぜひ展示ブースにもお立ち寄りください。



目次

1. 当社の概要

2. 中期経営計画「Triple“S”」について

3. 株主還元

ご参考資料

参考 ガスが届くまで

ガスが 届くまで

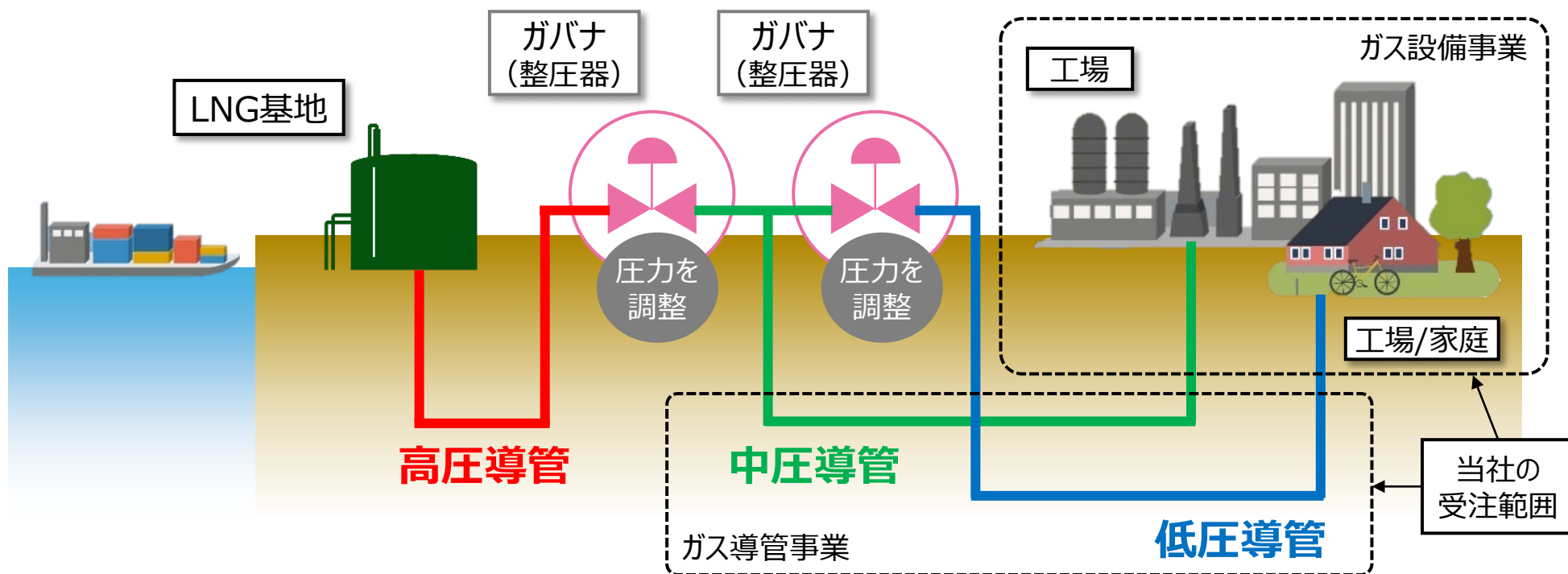
ガス導管事業・・・都市ガスをお客様の敷地まで届ける「ガス導管」の工事

ガス設備事業・・・敷地内のガス配管・機器設置工事

製造段階

供給段階

消費段階



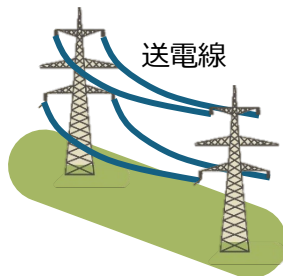
参考 電気が届くまで

電気が
届くまで

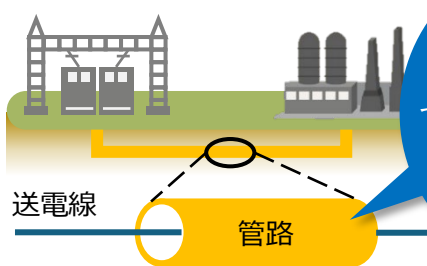
当社が受注する
地中送電線の範囲
(電設工事・メンテナンス)

<送電線の種類>

1. 空中にかかる 架空送電線

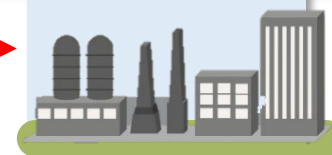


2. 地中に埋まっている 地中送電線

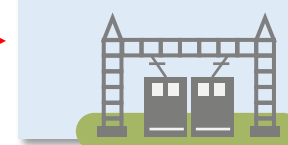


当社の電設工事
では、この管路の
埋設工事を行う

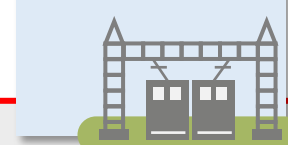
ビル・大規模工場



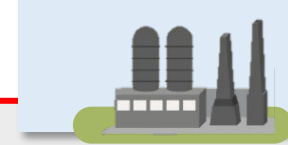
鉄道変電所



配電用変電所



工場



家庭



参考 ガス設備×ガス導管の現場力

1,000戸を超える超高層マンションにおけるガス設備工事の施工実績 ～「パークタワー晴海」におけるガス設備工事で示した高い技術力～

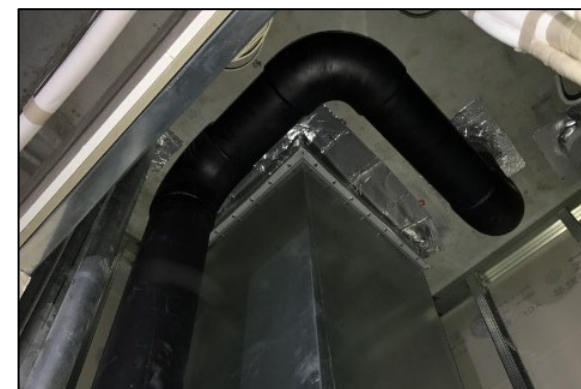
概要	内容
工事名称	(仮称)中央区晴海二丁目計画 (パークタワー晴海)
建物構造	超高層建物・免震構造 地下1階／地上48階 建物高さ169.99m
ガス設備概要	最大口径：300A 緊急遮断弁・免震継手設置あり ガスメーター数：1,084戸 配管総延長：28,838m

設計・施工
の高度な
知識&技術



協力会社の
高度な技能

- 超高層建物用ガス耐震設計
- 長期的な地盤沈下対策と液状化対策
- 標準外設置での免震接手施工 など



地震等による配管伸縮を抑える可とう配管



地盤沈下対策&液状化対策として
採用した大口径のPE管敷設作業

ガス設備事業の現場ではあるが、事業の垣根を超え、ガス導管事業からも必要な監督・協力会社を組み込み、無事故無災害で顧客への引き渡しを完了

当社の施工管理技術×協力企業の専門技能で適正な施工を確保

監督者



当社の監督者は、様々な現場特性から、施工計画（施工方法、工程、安全対策、環境対策など）を立案

ある現場では、施工方法として、**小口径推進工法** を選択

現場の特性

【自然特性】

- ・地形（高低差等）
- ・地質（土質、湧水等）
- ・気象（気温、降水量等）
- ・海象（河川流況、潮位等）

【立地条件】

- ・施設（病院、警察署等）
- ・環境（交通量、近隣等）
- ・輸送（搬入経路、規制等）
- ・支障物（地下埋設物等）
- ・用地（境界、置場等）

など

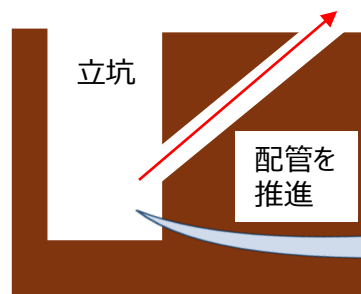
小口径推進工法

- 立坑から推進機によって配管を推進させる工法
- 掘削困難な場所にも管を敷設可能
- 立坑以外掘削する必要がないため、掘削土、埋め戻し土を最小限にできる環境に配慮した工法
- 開削工法に比べて工期短縮

施工班



- 推進機の前進・後退・回転操作により、管先端の抵抗をコントロールして軌道を確認



参考 まちで見かける協和日成の現場

▼まちで見かける協和日成の工事看板



▼作業帯設置状況、ヨシ



▼工具、ヨシ



▼資機材搬入、ヨシ



▼作業動線確保、ヨシ



※「〇〇、ヨシ」とはひとつひとつ指を差して状況を確認する「指差確認」の際の発声で、工事現場での安全・品質確保の基本。

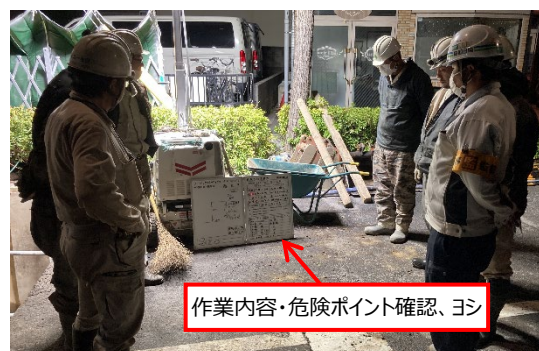
参考 まちで見かける協和日成の現場 ガス工事の安全対策

ガス事業者の作業基準を遵守し、安全を最優先に施工管理を行っています

<工事の流れ>

- ・作業帯を設置
資機材搬入
- ・作業前MTG
(危険予知活動)
- ・道路掘削
- ・配管埋設、接続
- ・埋め戻し(仮復旧)

▼作業準備、ヨシ



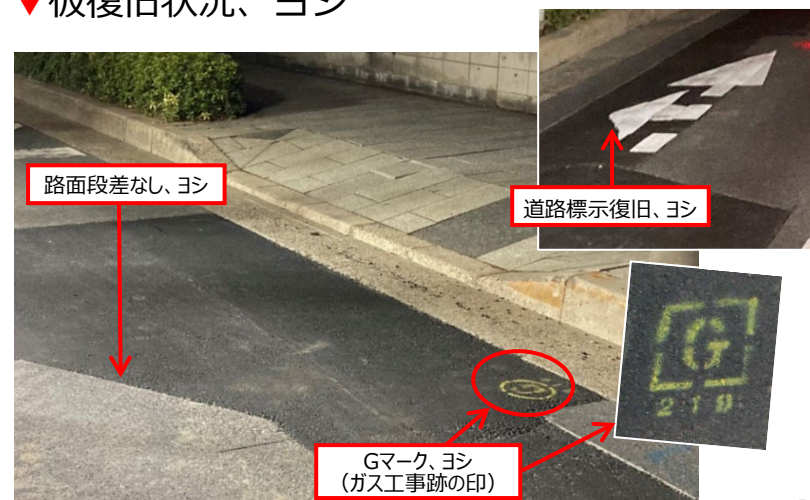
▼山留め、ヨシ



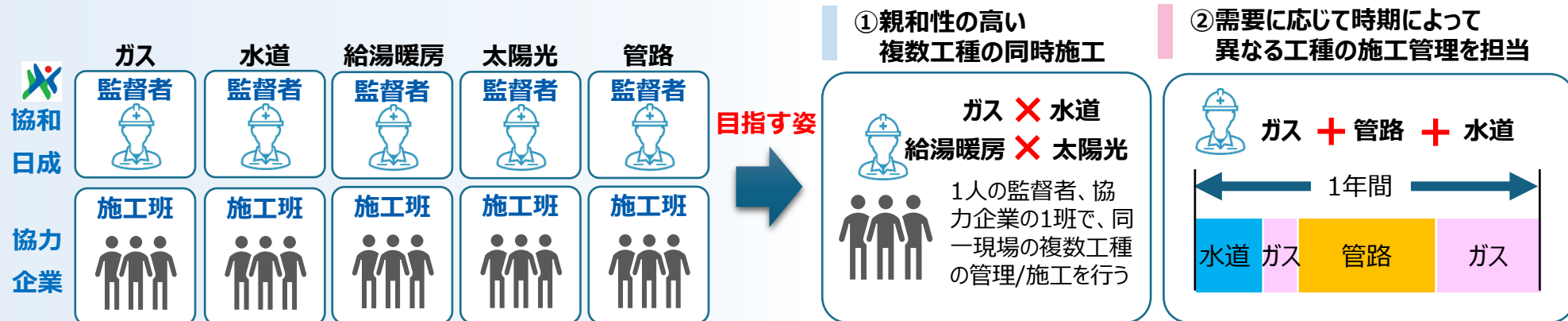
▼ガス管接続状況、ヨシ



▼仮復旧状況、ヨシ



参考 総合設備事業 イメージ



取組例①

給排水 × ガス設備

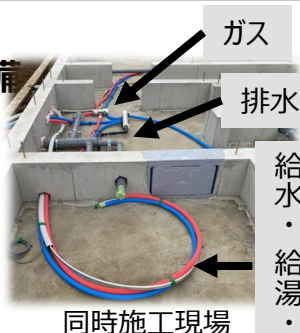
発注者

工程連絡
窓口1本化

LCS監督

工程情報の
共有

ガス監督



将来像
監督者1名での
同時施工体制
の実現

取組例②-1

ガス導管(静岡) + 水道工事

静岡市水道施設中長期更新計画
(水道のレジリエンス強化)

受注

静岡ガス(株)
水道事業参入

受注

静岡支店
積極受注

資格取得と講習を経て
施工体制を強化

将来像

水道組合加入による
行政からの直接受注



取組例②-2

ガス導管(関東) + 電設土木工事

ガス導管監督・施工班における
管路新設工事・撤去工事の経験蓄積

将来像

ガス導管事業と電設土
木事業の機動的な人
員シフトの実現



ご注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社協和日成 企画部

☎ 03-6328-5662

✉ ir@kyowa-nissei.co.jp

※ 本資料の著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止いたします。